

【指定避難所・指定緊急避難場所一覧表】

指定避難所	所在地	信濃川	中ノ口川	西川	新川・大通川・他	土砂災害
青山コミュニティハウス	青山6丁目16番20号	—	—	—	—	—
青山小学校	西有明町4番1号	—	—	—	—	—
真砂小学校	真砂3丁目24番1号	—	—	—	—	○
五十嵐中学校	上新栄町5丁目3番1号	—	—	—	—	○
五十嵐コミュニティハウス	上新栄町4丁目5番68号	—	—	—	—	—
五十嵐小学校	寺尾西4丁目23番1号	—	—	—	—	—
新潟大学(体育館)	五十嵐2の町8050番地	—	—	全階可	全階可	○
内野小学校	内野山手2丁目18番36号	—	—	全階可	全階可	×
内野中学校	内野西1丁目10番1号	—	—	—	全階可	○
西内野小学校	内野上新町308番地1	—	—	—	全階可	○
西コミュニティセンター	内野上新町11810番地	—	—	—	全階可	—
新潟西高等学校	西区内野西が丘3丁目24番1号	—	—	—	2階以上	—
木山小学校	谷内1886番地	—	—	—	全階可	—
赤塚中学校	赤塚5590番地	—	—	—	全階可	—
赤塚小学校	赤塚4478番地	—	—	—	全階可	—
新潟国際情報大学(体育館)	みずき野3丁目1番1号	—	—	—	全階可	—
小瀬小学校	小瀬637番地	—	—	—	全階可	—
中野小屋中学校	中野小屋932番地	—	—	—	全階可	—
笠木小学校	笠木1695番地	全階可	全階可	—	2階以上	—
日本文理高等学校	新潟1072番地	全階可	全階可	全階可	全階可	○
新潟小学校	坂井東6丁目18番1号	全階可	全階可	2階以上	全階可	○
新潟つばさ小学校	大野137番地	全階可	全階可	全階可	全階可	○
坂井東小学校	坂井東5丁目17番1号	全階可	全階可	全階可	全階可	—
坂井輪中学校	寺尾上3丁目1番36号	全階可	全階可	全階可	全階可	○
坂井輪コミュニティセンター	小針西1丁目12番12号	—	—	—	—	○
坂井輪小学校	坂井東1丁目2番1号	全階可	全階可	全階可	全階可	○
小新中学校	小新西3丁目18番1号	2階以上	2階以上	全階可	3階以上	—
新潟工業高等学校	小新西1丁目5番1号	2階以上	2階以上	全階可	2階以上	—
小針小学校	小針2丁目36番1号	全階可	全階可	2階以上	全階可	○
小針中学校	小針1丁目37番1号	全階可	全階可	全階可	全階可	—
東青山小学校	青山261番地1	全階可	全階可	全階可	全階可	○
立仏小学校	立仏950番地	全階可	全階可	全階可	2階以上	—
山田小学校	山田2781番地2	2階以上	全階可	全階可	全階可	—
黒崎市民会館	鳥原909番地1	2階以上	2階以上	—	2階以上	—
黒崎中学校	大野町2540番地1	2階以上	2階以上	全階可	2階以上	—
大野小学校	大野町3140番地乙	2階以上	2階以上	—	全階可	—
新潟翠江高等学校	金巻1657番地	2階以上	2階以上	—	2階以上	—
黒崎南小学校	木場911番地1	全階可	全階可	全階可	全階可	—

一時避難場所	所在地	信濃川	中ノ口川	西川	新川・大通川・他	土砂災害
平島公園	平島1丁目21番地	利用可	利用可	利用不可	利用可	—
平島記念公園	平島3丁目2番地	利用可	利用可	利用可	利用可	—
新町公園	青山新町14番地	利用可	利用可	利用可	利用可	—
寺尾あけぼの公園	寺尾前通2丁目9番地	利用可	利用可	利用不可	利用可	—
的場史跡公園	的場流通1丁目2番地1	利用不可	利用不可	利用可	利用不可	—
青山水道遊園	青山水道1番1号	利用可	利用可	利用可	利用可	—
流通公園	流通セター5丁目1番地	利用不可	利用不可	利用可	利用不可	—
中浜公園	新中浜1丁目10番地1	利用可	利用可	利用可	利用可	—
小丸山公園	新中浜5丁目5番地	利用可	利用可	利用可	利用可	—
大学南第一公園	大学南2丁目27番1号	利用可	利用可	利用可	利用可	—
ときめきやき公園	ときめき東1丁目3番2号	利用不可	利用可	利用可	利用可	—
みずき野中央公園	みずき野4丁目14番1号	利用可	利用可	利用可	利用可	—
宮のもり・木場城公園	木場126番地6	利用可	利用不可	利用可	利用不可	—
黒鳥公園	黒鳥5920番地	利用不可	利用不可	利用不可	利用不可	—
かただ公園	みずき野6丁目6番25号	利用可	利用可	利用可	利用可	—
山田公園	山田3358番地	利用不可	利用可	利用可	利用可	—
青海浜公園	関屋1829番地1	利用可	利用可	利用可	利用可	—
小新防災公園1号	小新5丁目8-47	利用不可	利用不可	利用可	利用不可	—

広域避難場所	所在地	信濃川	中ノ口川	西川	新川・大通川・他	土砂災害
寺尾中央公園	寺尾中央公園1番1号	利用可	利用可	利用可	利用可	—
佐潟公園	赤塚5404番地14	利用可	利用可	利用可	利用可	—

【一時避難場所】 地域の方々が集まって避難するため、地震発生直後に一時的に集合する場所。

【広域避難場所】 地震発生直後に、火災の延焼などで一時避難場所が危険になった場合に避難する、広い面積を有する場所。

表の見方
【洪水】 全階可——浸水範囲外の避難所であり、1階から全ての階に避難可能。
 ○階以上——○階の下まで浸水する避難所であり、○階以上に避難可能。
 ————当該河川洪水時において開設しない。
 利用不可——指定避難所において全階浸水、又は家屋倒壊等氾濫想定区域内等あり、利用不可。
 一時・広域避難場所において浸水範囲内にあり、利用不可。
 利用可——一時・広域避難場所において浸水範囲外にあり、利用可。

【土砂】 ○——西区において土砂災害時に開設する避難所。
 ×——西区において土砂災害警戒区域内等にあり、避難に適さない避難所。
 ————土砂災害警戒区域等の外にあり、土砂災害時において開設しない避難所。
 ※表の階数表記は、想定される浸水深と指定避難所の建物階数の高さと比較したものです。
 ※避難情報が発令された時に必ず開設することを示すものではありません。



新潟市総合ハザードマップ

西区 | 小新中学校区

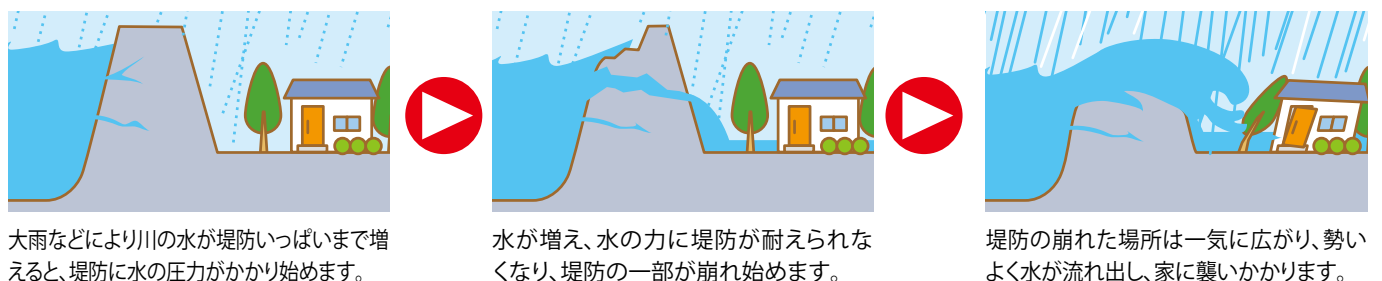
- 洪水・土砂災害 P1-P4
- 津波 P5-P10
- 浸水 P11-P12



お問い合わせ先
 危機管理防災局 防災課 TEL.025-226-1143
 西区 総務課 TEL.025-264-7120

【水害のシナリオ】

洪水発生仕組み 洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。



大雨などにより川の水が堤防いっぱいまで増え、堤防に水の圧力がかかり始めます。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。

堤防の崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

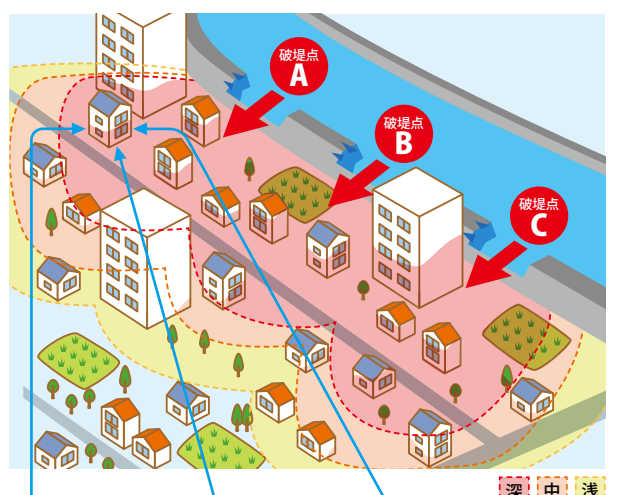
シミュレーション設定条件、降雨規模

想定最大規模・計画規模の降雨となった場合、設定河川以外の小川も同時に氾濫するおそれがあります。市からの避難情報や気象情報に注意して適切な避難行動を取ってください。

設定河川	想定雨量	影響のある区
加治川(加治川水系)	15時間 460mm	北
新井郷川・新井郷川分水路・福島湯・他(阿賀野川水系)	48時間 271mm	北
太田川(阿賀野川水系)	24時間 353mm(山地)・300mm(平地)	北
安野川(阿賀野川水系)	24時間 353mm(山地)・300mm(平地)	北 江
阿賀野川(阿賀野川水系)	48時間 382mm	北 東 中 江 秋
早出川(阿賀野川水系)	48時間 809mm	中 江 秋
通船川・粟ノ木川(下流)	24時間 198mm	東 中
信濃川(信濃川水系)	48時間 633mm	東 中 江 秋 南 西 西蒲
粟ノ木川(上流)・鳥屋野湯・鳥屋野湯放水路(信濃川水系)	48時間 285mm	東 中 江
小阿賀野川・能代川(信濃川水系)	24時間 731mm	東 中 江 秋
東大通川(信濃川水系)	1時間 48.12mm	秋
五社川(信濃川水系)	1時間 61.7mm	秋
西川(信濃川水系)	24時間 198mm	西
新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路(新川水系)	36時間 260mm	南 西 西蒲
鷺ノ木大通川・西大通川(信濃川水系)	48時間 271mm	南
中ノ口川(信濃川水系)	48時間 633mm	南 西 西蒲
木山川(新川水系)	36時間 260mm	南 西蒲
飛落川(新川水系)	36時間 260mm	西蒲
矢川(信濃川水系)	24時間 147mm	西蒲

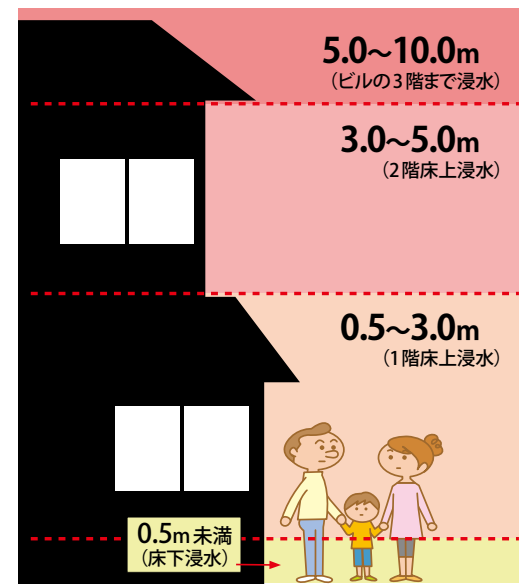
洪水浸水想定区域の考え方

全ての破堤点(堤防が決壊すると想定した箇所)について、どう氾濫し、浸水するか、それぞれの箇所で氾濫解析シミュレーションを行い予想しています。



マップに示した想定は、全ての予想結果を重ねあわせた最大の区域と深さを表示しています。実際は、それらのうち限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がります。

【浸水が想定される区域における避難行動】



氾濫流 家屋倒壊等氾濫想定区域
堤防が決壊等が発生した場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

河岸侵食 家屋倒壊等氾濫想定区域
河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

状況に応じた避難行動

【水平避難と屋内安全確保】

洪水が予想される場合は、早めに浸水想定区域の外側の避難所等へ避難することが基本です。避難所への避難がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所へ避難しましょう。すでに避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。



【早期立退き避難】

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にある、または浸水深が建物の最上階の床の高さを上回る場合は、早期の立退き避難が必要です。

【浸水継続時間が長い区域】

浸水継続時間が長い地域ではライフライン(電気・ガス・上下水道・電話など)の復旧には時間がかかり、生活するのは困難になります。しばらくの間自宅に戻れないことも考慮した上で早めの避難を心がけてください。河川ごとの浸水継続時間は、下記の河川管理者のホームページで確認することができます。

新潟県内の浸水想定区域図ホームページアドレス
<http://www.pref.niigata.lg.jp/kasenkanri/1233086526002.html>



【気象庁からの気象情報(注意報・警報)】

注意報
大雨注意報
大雨による災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
洪水注意報
大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

警報
大雨警報
大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には、大雨警報(土砂災害)、大雨警報(浸水害)、大雨警報(土砂災害、浸水害)のように、特に警戒すべき事項が明記される。
洪水警報
大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられる。

特別警報
大雨特別警報
大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表される。大雨特別警報には、大雨特別警報(土砂災害)、大雨特別警報(浸水害)、大雨特別警報(土砂災害、浸水害)のように、特に警戒すべき事項が明記される。

【雨の降り方と周囲の状況】



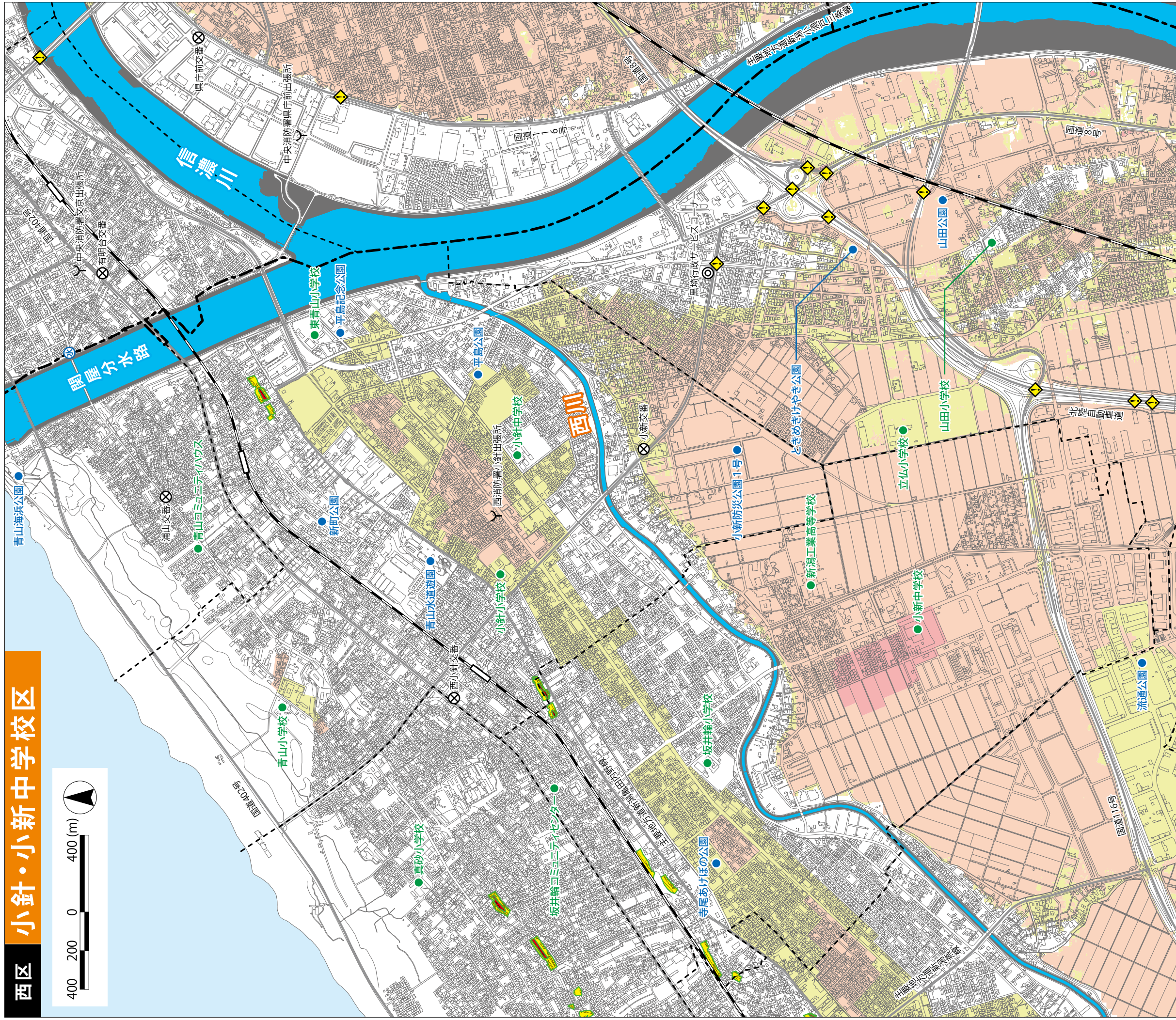
【土砂災害の種類と前兆現象】

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって斜面が崩れ落ちる。
前兆現象
●がけからの水がにこる
●がけに亀裂が入る
●小石がばらばら落ちてくる

土石流
山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される。
前兆現象
●山鳴りがする
●雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
●急に川の水が濁り、流木が混ざっている

地すべり
斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する。
前兆現象
●地面に亀裂、段差ができる
●樹木が倒れる
●斜面から水がふき出す

西区 小針・小新中学校区



この洪水・土砂災害ハザードマップは、各対象河川の浸水想定区域図を重ね合わせて作成しているため、浸水区域が重なる地域については、浸水深の深い方を表示しています。各河川の浸水想定図は、市のホームページ(P14参照)にて確認することができます。

指定避難所	信濃川	中ノ口川	西川	新川・大通川・他	土砂災害
青山コミュニティハウス	—	—	—	—	—
青山小学校	—	—	—	—	—
真砂小学校	—	—	—	—	○
坂井輪コミュニティセンター	—	—	—	—	○
小新中学校	全階可 2階以上	全階可 2階以上	全階可 2階以上	全階可 3階以上	○
新潟工業高等学校	2階以上	2階以上	全階可 2階以上	全階可 2階以上	—
小針小学校	全階可	全階可	全階可	全階可	○
東青山小学校	全階可	全階可	全階可	全階可	○
立仏小学校	全階可	全階可	全階可	全階可	○
山田小学校	2階以上	全階可	全階可	全階可	—

一時避難場所	信濃川	中ノ口川	西川	新川・大通川・他	土砂災害
平島公園	利用可	利用可	利用不可	利用可	—
平島記念公園	利用可	利用可	利用不可	利用可	—
新町公園	利用可	利用可	利用不可	利用可	—
寺尾あけぼの公園	利用可	利用可	利用不可	利用可	—
青山水道遊園	利用不可	利用不可	利用可	利用不可	—
流通公園	利用不可	利用可	利用可	利用可	—
ときめきやき公園	利用不可	利用可	利用可	利用可	—
山田公園	利用不可	利用可	利用可	利用可	—
青山海浜公園	利用可	利用可	利用可	利用可	—
小新防災公園1号	利用不可	利用不可	利用可	利用不可	—

表の見方

※表の見方については、裏表紙の「指定避難所・指定緊急避難場所一覧」を参照してください。

- 浸水深
- 3.0~5.0m
 - 0.5~3.0m
 - 0.5m未満

- 指定避難所 ● 一時避難場所・広域避難場所
 ◎ 区役所・出張所・連絡所 Y 消防署・出張所 ⊗ 警察署・交番・駐在所
 水防倉庫 ◆ 洪水時危険箇所(道路冠水が想定される箇所)
 --- 中学校区境界 --- 行政区界
 土砂災害警戒区域等(赤塗りは特別警戒区域)
 急傾斜地の崩壊

※この洪水・土砂災害ハザードマップには、氾濫流・河岸侵食の表示はありません。

地震が起こったら直ちに避難!!

活用1 津波のおそろしさを学ぼう

この津波ハザードマップを活用し、津波についての基礎知識を身につけましょう。

活用2 津波からの避難路を考えよう

この津波ハザードマップを用いて、自宅・学校・職場からの避難経路を考えましょう。

活用3 津波避難を体験しよう

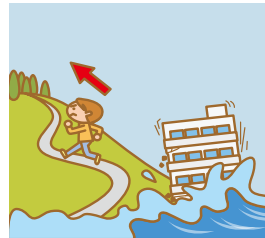
安全な場所まで避難する訓練を実施し、実際に身体をつかって試してみましょう。

【津波による4つの地域特徴】

沿岸・沿川地域

緊急避難地域

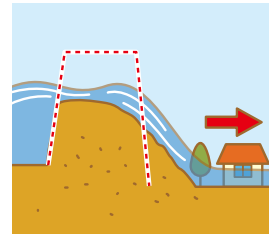
津波警報を待たずに、直ちに高台や避難ビルへ避難!



沿岸・沿川は、津波襲来までに時間的余裕がありません。津波の情報を待たずに、すぐに高台や避難ビルに避難しましょう。

沿岸地域：津波の力が非常に強く、建物などの構造物を破壊する力を持ちます。海岸では土地が高くとも、津波が勢いよく押し寄せ、被害が出る可能性があります。

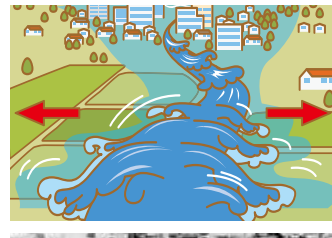
沿川地域：地震の揺れによって、堤防等が倒壊し、津波の発生前でも、河川からの浸水が発生します。続いて、津波が河川を遡上(せじょう)し、強い力で堤防を破壊し、被害が、さらに拡大する恐れがあります。



河川遡上地域

早期避難地域

河川沿いから直ちに離れて! 高台や避難ビルに避難!



河川遡上地域では、早期避難が必要です。できるだけ川から「遠く、高く」へ避難してください。

津波は、海岸域だけでなく、川を駆け上りながら、河口から遠く離れた内陸の沿川地域にまで甚大な被害を与えます。これが「津波の河川遡上(せじょう)」です。

川沿いから1キロ以上離れた場所でも、河川遡上の影響を受けます。また、船・木材などの漂流物が逆流し、思わぬ破壊力を持ちます。

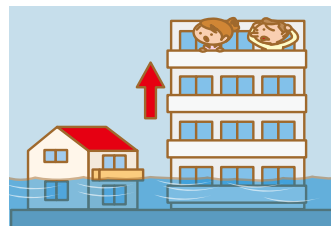


信濃川を遡上する津波
昭和39年新潟地震 新潟地方気象台提供

低平地浸水地域

長期浸水地域

高台や避難ビルなど堅牢な建物(コンクリート造)の高層階に直ちに避難!



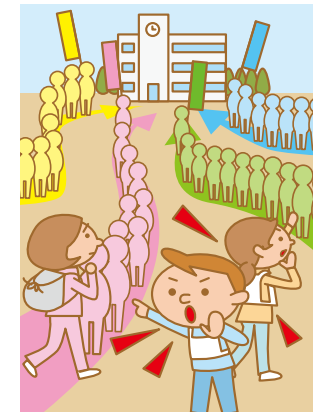
宅地、田畑、ビニールハウスが水没している様子
(道路から見た状況)

津波による低平地浸水 平成23年東日本大震災 宮城県亘理町

低平地浸水地域では、地震発生直後から移動を開始し、津波被害が及ばない地域まで避難することが理想的です。海岸から比較的離れた地域においても、河川を逆流してきた津波の浸水が広い地域で起こります。一度浸水すると、自然に排水されず、長期の浸水状況が想定されます。逃げ遅れると、長期の浸水(たんすい)により、避難生活が長期化します。

避難者受け入れ地域

津波浸水地域外の人は避難者について受け入れを準備!



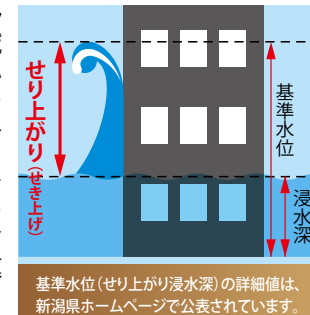
避難者受け入れ地域では、浸水が想定される地域からの避難者を受け入れ、避難生活を支える等の支援が期待されます。避難所、地域の住宅・建物に避難者の受け入れ準備をしてください。

津波による浸水の影響がないことが想定される地域です。しかし「想定外」の地震災害発生により、浸水の危険が全くないわけではありません。十分に注意してください。

【津波についてもっと知ろう】

津波のさらなる脅威
「せり上がり(せき上げ)」とは…

津波が地域に侵入した際に、建物等に衝突し、想定水位(浸水深)より「より高く、より威力をもって、襲いかかる」ことが知られています。これを「津波のせり上がり(せき上げ)」といいます。「4つの地域区分図」の凡例(はんれい)を確認し、住んでいる地域が「せり上がり」の危険性が高いかどうか確認する必要があります。なお「せり上がり」が起こる可能性のある箇所は、範囲がたとえ狭くても、津波の威力はさらに甚大となり、深刻な事態を引き起こす可能性があります。より速やかな避難行動が不可欠です。

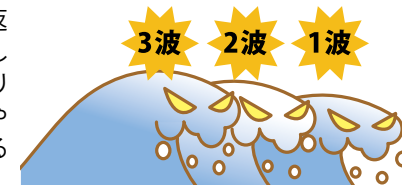


基準水位(せり上がり浸水深)の詳細値は、新潟県ホームページで公表されています。

●基準水位とは/津波災害警戒区域において、避難施設や特別警戒区域内の制限用途の建築物に制限を加える際の基準となる水位。

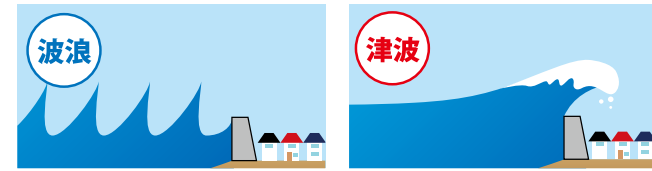
2波、3波と繰り返す

津波は二度三度繰り返してきます。必ずしも第1波が最大とは限りません。津波注意報や津波警報が解除されるまで注意しましょう。

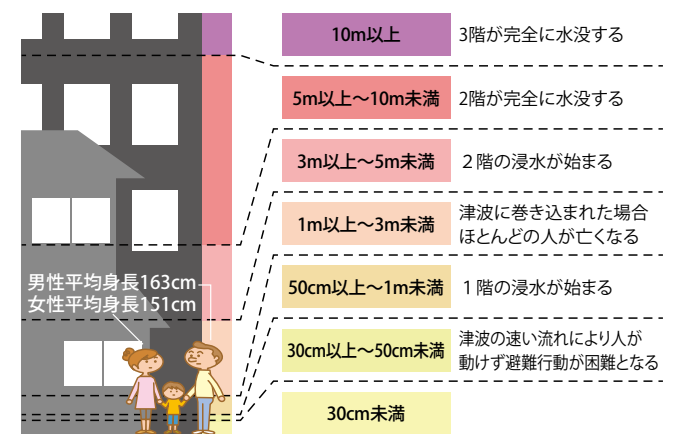


恐るべき津波の破壊力

津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までの全ての海水が巨大な水のかたまりとなって海岸に押し寄せ、その破壊力はすさまじいものとなります。また、引き波も長時間にわたって引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



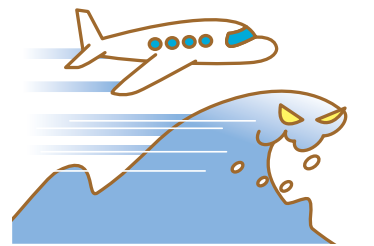
津波による最大浸水深の目安



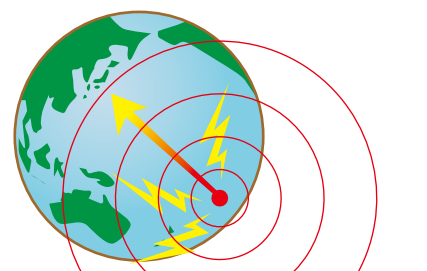
津波の流れが速い場合は、浸水深が浅くても歩けなくなります。

沖合はジェット機、陸上はオリンピック選手なみの速さ

津波を確認してからでは、間に合いません! ゆれや津波警報が発表されたら、避難を始めてください。津波は沖合ではジェット機速度に匹敵し、陸上ではオリンピックの短距離走選手なみの速さです。人が走って逃げ切れるものではありません。

外国で起こる地震にも注意しましょう
(遠地(えんち)津波の発生)

日本ではゆれを感じなくとも、外国で起きた地震が、津波の被害を発生させることがあります。海岸や川沿いに出かけるときは、ラジオを持って行きましょう。



津波に関する情報に注意を!

状況は刻々と変化します。いったん安全を確保してから、情報の入手につとめましょう。

津波警報・注意報とは…

気象庁では津波による災害の発生が予想される場合に、大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。沿岸部での地震では、津波が警報の発令より早く到達することがありますので、ご注意ください。

予報の種類	予想される津波の高さ/数値での発表			巨大地震の場合の表現*
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	10m (5m<高さ≤10m)	5m (3m<高さ≤5m)	巨大
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)			高い
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)			(表記しない)

※マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。

情報の入手方法は…

沿岸部・河口部に設置された「屋外スピーカー(同報無線)」、「緊急速報メール(地震・津波)」が受信可能な携帯電話・スマートフォン、災害時に自動受信が可能な「緊急告知FMラジオ」その他、テレビやラジオ

【津波の前には地震がやってくる】

地震のゆれによる建物倒壊



新潟県提供

地盤液状化により傾いた建物



火災による被害



昭和39(1964)年新潟地震では、津波襲来の前にこのような被害が発生しています。これらの状況にも注意しながら、津波から避難をしましょう。

津波浸水想定図

(津波による浸水の深さ)

この津波ハザードマップは、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、小針・小新中学校区周辺の浸水の深さ、津波避難ビル、津波避難場所などを示したものです。

新潟市に襲来が予想される最も影響の大きい6津波断層モデル(『F30(秋田・山形沖)』『F34(県北・山形沖)』『F35(佐渡北)』『F38(越佐海峡)』『F42(佐渡西方・能登半島北東沖)』『長岡平野西縁断層帯])を選定し、メッシュ単位で津波断層ごとの計算結果を重ね合せ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。

東日本大震災の教訓をふまえると、想定以上の災害が起こる可能性が有ります。白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

大きな揺れを感じたら津波に注意!! 大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

凡例 新潟県津波浸水想定 (H29年度)

～0.3m 未満 0.3～0.5m 未満 0.5～1.0m 未満 1.0～3.0m 未満 3.0～5.0m 未満 5.0～10.0m 未満 10.0～20.0m 未満

●津波避難ビル ●津波避難場所 ●津波発生時に避難可能な指定避難所 ◎区役所・出張所・連絡所 ㄚ消防署・出張所 ⊗警察署・交番・駐在所
- - - 中学校区境界線 - - - 行政区境界線 - - - 主要な道路

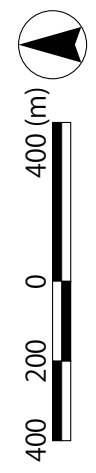
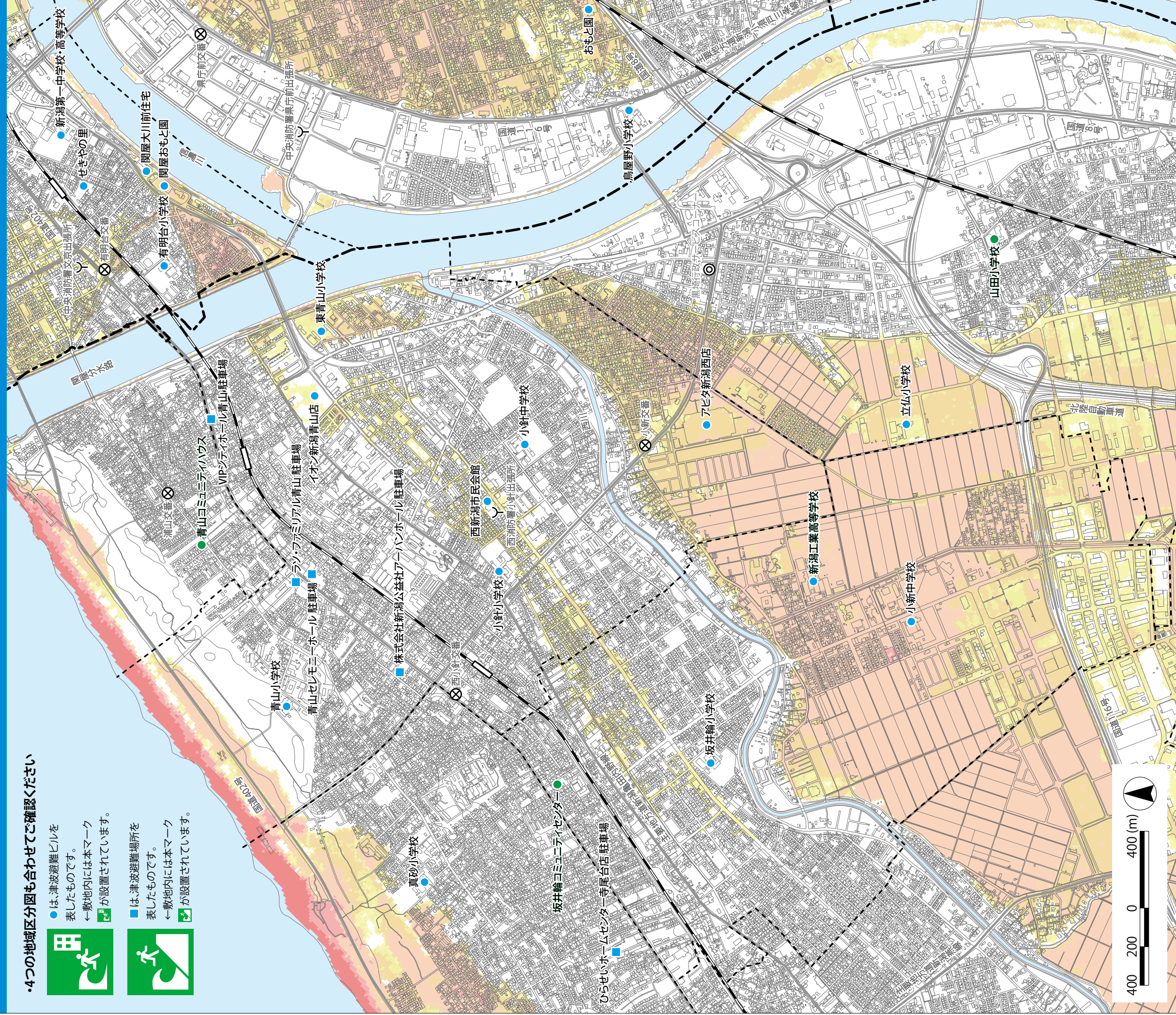
・4つの地域区分も合わせてご確認ください



●は、津波避難ビルを表したものです。
←敷地内には本マークが設置されています。



■は、津波避難場所を表したものです。
←敷地内には本マークが設置されています。



西 小針・小新中学校区周辺

4つの地域区分図

(津波が到達する時間別)

この津波ハザードマップは、小針・小新中学校区周辺の津波到達・浸水開始時間により4つの地域に区分し色分け表示したものです。赤色の「沿岸・沿川地域(緊急避難地域)」は、津波襲来までに時間的余裕のない地域です。黄色の「河川遡上地域(早期避難地域)」は、早期に避難することが必要な地域です。青色の「低平地浸水地域(長期浸水地域)」は、一度浸水すると自然に排水されにくく、浸水状況が長く続くことが想定される地域です。薄緑の「避難者受け入れ地域」は、津波による浸水の影響は想定されていませんが、浸水が想定される地域からの避難者を受け入れ、避難生活を支える等の支援が期待される地域です。白囲みの「せり上がり」地帯は、より強い「勢い」の津波が襲来するため、地震発生後すぐに避難行動を開始してください。

東日本大震災の教訓をふまえると、想定以上の災害が起こる可能性が有ります。薄緑の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

大きな揺れを感じたら津波に注意!! 大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

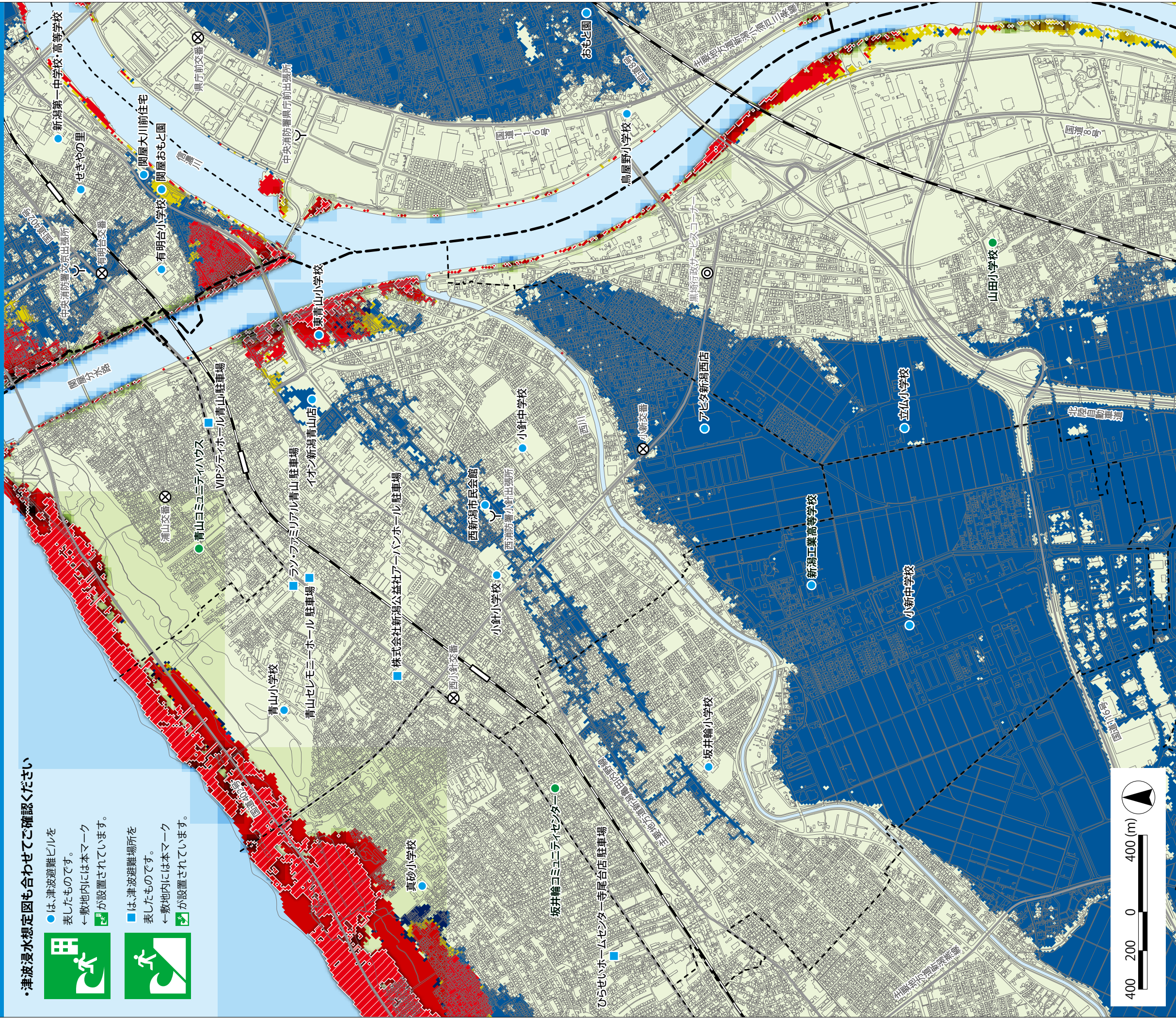
凡例 新潟県津波浸水想定(H29年度) この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第886号)

- せり上がり地帯 (被災～30分未満) 河川遡上地域 (30～120分未満) 低平地浸水地域 (120分～約7日後)
- 津波避難ビル 津波発生時に避難可能な指定避難所 区役所・出張所・連絡所 消防署・出張所 警察署・交番・駐在所 中学校区境界線 境界線 主要な道路

※せり上がり地帯とは、「せり上がり」が10cm以上発生する範囲を示したものです。この地帯では、「より高く」「より速く」「津波が襲いかかることが想定されます。なお「せり上がり」地帯がたえ狭くても、津波の威力は大きいので、より速やかな避難行動が不可欠です。

・津波浸水想定図も合わせてご確認ください

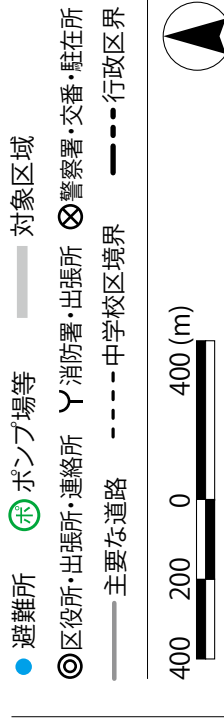
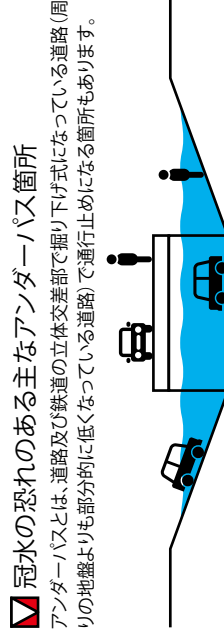
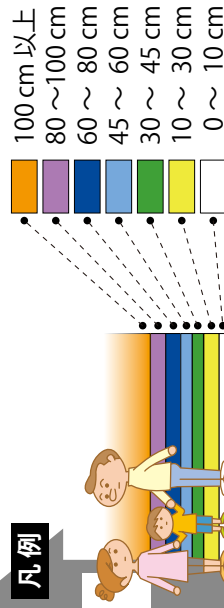
- は、津波避難ビルを表したものです。
←敷地内には本マークが設置されています。
- は、津波避難場所を表したものです。
←敷地内には本マークが設置されています。



小針・小新中学校区

- 想定条件
- 1) 想定している降雨の規模は、これまでに新潟市で観測された最大の降雨平成10年8月4日降雨(時間最大雨量・97mm:新潟観測所)であり、浸水被害をもたらした降雨です。
 - 2) 下水道施設の排水能力は平成25年度末時点(西区)と平成23年度末時点(中央区)のものです。
 - 3) 河川水位は、氾濫しない範囲での計画高水位を想定しています。
 - 4) 想定を超える大雨が降った場合や、河川のはん濫等は考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこの図より大きくなる可能性があります。

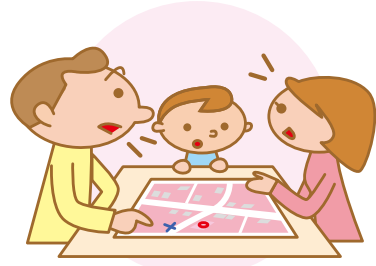
凡例



災害に備えた 事前の心構え

避難場所や避難路を 事前に確認

家族が別々に避難することも考えられます。前もって連絡先や集合場所を決めておきましょう。



普段から地域での 助け合い活動を

お年寄りや身体の不自由な方など、自ら避難することが困難な方もいます。普段から気配りをしましょう。



地域の避難訓練に 参加しましょう

自治会等の避難訓練に参加しましょう。訓練の際には、ハザードマップを活用しましょう。



災害発生時における 避難の心構え

正確な情報収集と 早めの避難

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどから最新の気象情報等に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。



動きやすい服装と 集団での避難

持ち物はリュックで、手は自由に。長靴ではなく運動靴で避難しましょう。単独での避難は事故にあったとき非常に危険です。避難するときは複数で行動しましょう。



自力で避難する ことが困難な方へ 可能な範囲で協力

隣近所で声をかけ合いましょう。また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に可能な範囲で協力しましょう。



車での避難は 控える

車での避難は渋滞を招き、緊急車両の妨げになります。また、道路冠水などにより動けなくなるおそれがあります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



【避難情報の種類・説明】

避難準備・高齢者等避難開始 警戒レベル3

避難に時間を要する方(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は避難の準備を整え、以降の防災気象情報などに注意しましょう。



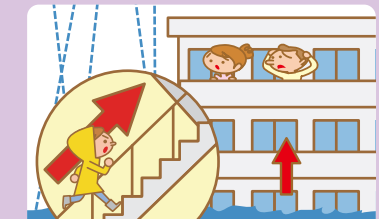
避難勧告 警戒レベル4

災害による被害が発生する可能性が高まっています。速やかに避難所へ避難をしましょう。外出することで危険性が高まる場合は、屋内のより安全な場所へ避難しましょう。



避難指示(緊急) 警戒レベル4

災害が既に発生している又は、発生危険が非常に高まっています。避難をしていない方は、ただちに避難所へ避難してください。外出することで危険性が高まる場合は、屋内のより安全な場所へ避難しましょう。



【避難情報等の伝達、入手方法】

にいがた防災メール

にいがた防災メールとは避難情報など、災害に関して緊急を要する情報等をメールでお知らせします。全市域に関するメールのほか、ご希望により、自宅や職場などがある区に関するメールのみを受取ることができます。

【にいがた防災メールで配信される情報】

- 1 避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告及び避難指示(緊急))
- 2 災害等に関し緊急に配信する必要が認められる情報
- 3 防災啓発に関する情報

にいがた防災メールへの登録

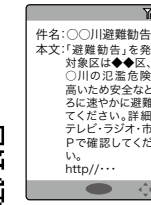
【パソコンから登録】

にいがた防災メール

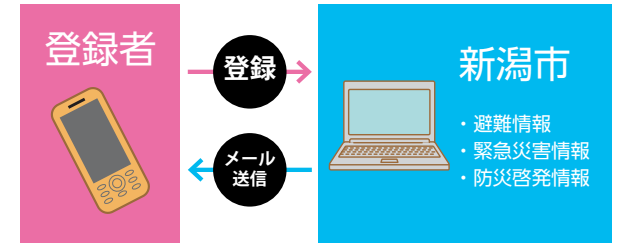
【携帯電話・スマートフォンから登録】



二次元コード(QRコード)から登録

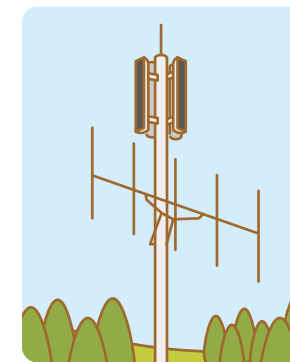


にいがた防災メールのイメージ



防災行政無線

屋外に設置されている子局のスピーカーからサイレンや音声により、市民の皆さまに緊急情報や避難情報などをお知らせします。



緊急速報メール・エリアメール

災害情報や避難情報などを配信エリア内の対応携帯電話に一斉配信します。登録は不要です。対応機種などは、各通信事業者にお問い合わせください。



他のハザードマップは市のホームページに掲載

新潟市ハザードマップ紹介ページ

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bosai/hinanjo/kouzui_hinanchizu/index.html

- ・地区別防災カルテ
- ・津波ハザードマップ
- ・洪水ハザードマップ
- ・浸水ハザードマップ
- ・道路冠水想定箇所
- ・土砂災害ハザードマップ
- ・ため池ハザードマップ
- ・液状化しやすさマップ
- ・なだれ危険箇所マップ
- ・浸水実績図



新潟市公式LINEアカウント

防災、子育て、イベント、市政情報など生活に密着した情報の中から、選択した地域の欲しい情報だけを、LINEでタイムリーにお届けします。そのほか、トーク画面上から常時、必要な防災情報を確認できるコンテンツメニューを準備しました。防災に関する主な機能はこちらです。

プッシュ通知による配信
避難情報、避難所情報、防災お知らせ情報
コンテンツメニューから確認できるもの
避難所・避難場所検索
ハザードマップ検索
防災関連情報など

